



Lend a Hand
手を貸そう

国際ロータリー第2750地区多摩東グループ
東京多摩グリーンロータリー・クラブ

Weekly Report



クラブ会長テーマ 手を貸そう! そして強く握ろう!

2003-11-5 第628回例会 NO.14-17 2003-11-12 発行

◎司会 SAA委員会 高木 淳光

◎点鐘 会長 大松 誠二

◎国歌斉唱

ロータリーソング「奉仕の理想」

ソングリーダー 菊池 敏

◎お客様紹介

なし

◎会務報告

会長 大松 誠二

(1) 10月29日に第8回理事会(臨時)を開催しました。

「セバスチャン・サルガド写真展」に対してクラブから会員一人当たり1,000円(44,000円)を寄付することを承認しました。この写真展は、ロータリー財団ポリオ撲滅キャンペーン日本委員会と朝日新聞、都写真美術館が共催するものです。出展写真は、世界中の紛争、難民、飢餓、疾病で苦しむ人々をモノクロで写したもので、その中にはポリオで苦しむ子供達も含まれています。一人当たり1,000円のうち800円が招待券として会員に配布、残り200円が寄付です。ご理解をお願いします。

(2) 11月19日(水)に第2弾の特別事業「白楽荘訪問」が実施されます。移動例会ですので是非とも参加し、実情を自分の目で見てこの事業を体験して下さい。

◎幹事報告

幹事 藤本 吉文

- ・地区よりバギオ研究会のお知らせが届いていますので回覧致します。後程、この件について、地区世界社会奉仕委員の宮本会員より説明があります。
- ・「ロータリーの友」インターネット速報が来ましたので回覧します。

・11月19日(水)は移動例会で特別事業「白楽荘訪問」です。

【委員会報告】

◎出席報告 出席委員会 杉田 誠

- ・会員総数 44名
- ・出席義務者数 43名(出席免除者4名)
- ・出席者数 33名
- ・欠席者数 10名(事前MU0名)
- ・出席率 76. 74%
- ・欠席者: 阿部 華歌、平野 行廣、小林 正、小泉 博、正房 正孝、宮村 宏、佐伯 和廣、菅井 信夫、高村 弘、由井 眞司
- ・補填MU: なし

10/20 最終訂正出席率 71. 43%

◎ニコニコBOX 親睦活動委員会 加藤喜三郎

大松 誠二 高野さん、今日の卓話宜しく。

〃 先週、誕生祝を頂きました。田中さん、伊澤さん、そして私。さて、この中で還暦を迎えた人がいます。誰でしょう?

藤本 吉文 今日は高野さんの卓話、楽しみです。

関岡 俊二 11月19日特別事業、皆様のご協力宜しくお願いします。

赤尾 恭雄 高野さん、卓話を楽しみにしています。

杉野志保子 高野さん、卓話楽しみです。

津守 弘範 久しぶりで高野さんの卓話、楽しみにしております。

田島真由美 高野さん、お久しぶりです。卓話楽しみです。

東京多摩グリーンロータリー・クラブ事務局

東京都多摩市落合1-43 京王プラザホテル多摩561号
TEL 042 (372) 6463 FAX 042 (372) 6491
E-mail tamagrc@cello.ocn.ne.jp

【例会場】京王プラザホテル多摩・たまつばき4階

【例会日】●毎週水曜日12:30 ●月の最終例会18:30

【会 長】大松誠二 【幹 事】藤本吉文

【クラブ会報委員長】赤尾恭雄 【副委員長】正房正孝

【委 員】遠藤二郎・平野行廣・佐伯和廣・澄川昇・高木淳光・由井眞司・小田泰機

北村 幸彦 先週の車椅子テニススクールには出席できず申し訳ありませんでした。皆さんの活動ぶりはパソコンで見させて頂きましたが、弁当を食べているだけでしたね。

伊澤ケイ子 秋も深まってきました。

萩生田政由 11月1~2日にかけて、笹ヶ峰高原にキノコ採りに行きました。ムキタケ、ナメコを大量に採りました。

根本 泰守 娘が多摩市テニス大会ダブルスで準優勝しました。宮村プロに宜しくとの事です。

加藤喜三郎 高野会員の卓話楽しみにしています。

本日の合計¥17,000(累計¥374,357)

※下記累計金額の訂正(お詫びして訂正致します。)

週報626掲載(¥334,357)、週報627掲載(¥357,357)

**◎ロータリー財団委員会 委員長 宮本 誠
(地区世界社会奉仕委員)**

・財団寄付を申し込まれた方には先週FAXで振込方ご連絡しましたが、出来れば11月19日までにお振り込み下さい。

・バギオ研究会は、バギオ基金(シスター海野のフィリッピン日系孤児救済活動をロータリーが支援して設立された基金団体)について本を書かれた方の講演会で、四谷の教会で開催されるとのご案内です。

このバギオにおけるシスター海野の活動とロータリーとの関わりについては、10月31日付の日本経済新聞にも掲載されています。

**◎特別事業実行委員会 副委員長 関岡 俊二
(Bグループ「白楽荘訪問」)**

特別事業(白楽荘訪問)のスケジュールと実施要領について説明。(配付資料参照)



◎社会奉仕委員会

委員長 伊藤 英也

11月11日(火)の多摩市清掃デーに、当クラブとしても「乞田川をきれいにする事業」に参加することになっております。一多くの方の参加をよろしくお願ひします。長靴を持参して下さい。多摩公証役場前集合です。



◎国際奉仕委員会

委員長 吉沢 洋景

先ず、特別事業第2弾の「白楽荘訪問」について、前回の第1弾同様、よろしくお願ひします。

国際奉仕関連として先ず、財団寄付をよろしくお願ひします。また、大阪国際大会もドルレートが下がって申込みやすくなって来たこともあり、来週にでも登録申込用紙を参加予定者にお配りする予定です。

◎ゴルフ同好会

菊池 敏

第1回クラブ合同チャリティゴルフコンペが12月に予定されています。一般市民を含めて160名の参加を目標に募集を計画しています。知人の方々にも広く声を掛けて頂きたいと考えます。また、賞品の提供にもご協力下さい。収益金は多摩・稲城両市の地域福祉活動に活用することがこの事業の目的です。

◎卓 話

『介護保険法と老人ホーム』

高野 範城

11月19日(水)開催の特別事業「白楽荘訪問」の予備知識として、高齢者対策の政治的経緯と高齢者の実情および老人ホームの現状について説明。



◎点鐘

会長 大松 誠二

(例会担当：赤尾 恭雄)

ポール・ハリスを我々の心に！ Part 12

ウォリングフォード時代のポールら悪童達は、村の出来事は何でも知っていた。床屋、郵便局や駅は大切な情報源だった。悪童達は八方手を尽くして鉄道沿線の重要なニュースを集めていたので、機関士やブレーキ係の名前まで知っていた。しかも、彼等が嘯みタバコが好きかどうかまで調べていた。

昔、駅で見習いをしていた悪童仲間が、大胆なことに、午後 10 時半の汽車のエプロンにポールをこっそり乗せてくれ、マンチェスターを往復して午前 2 時半の汽車で再びウォリングフォードへ戻ってきたことがあった。その仲間ウィリーは事前にダイヤを調べて綿密な計画を立てていた。午後 10 時半の汽車が停車すると、ポールは機関車の前の線路を渡り、機関士に見付からないようにエプロンに這い上がった。その間、ウィリーも火夫の目をごまかし万事が計画通りうまくいった。

もの凄く揺れる機関車に乗って、夜霧の中を分けながら進んでいくのはスリルがあり、特に何も知らない祖父母がぐっすり眠っているときに、汽車がマンチェスター付近の鉄橋を通過したりするのは最高の気分とポール達は感じていた。



悪童達は、いろいろと経験を積んで大人の知らないことまで知っていたが、当然のこと極秘情報は公表しなかった。それは理解も信用もされなかったからだった。例えば、汽車に乗りに行った晩に、もし「おばあさん、これからウィリーと一緒に機関車のエプロンに乗ってくるから、先にお休み下さい」と言ったら祖母が何と言うか、ポール

は百も承知だったので、居間の時計が 10 時を打つとこっそり窓から這い出しウィリーと計画を決行した。

しかし、機関車のエプロンとはカウ・キャッチャーであり、群れからはずれて線路上に迷い込んだ牛を線路外にはねるためのスカート状の狭い場所である。もしもその晩、迷い牛を引っかけていたら、牛もろとも全員死亡、死体が散乱し、きちんと葬式をするには葬儀屋が牛の遺体の一部で自分たちの遺体の欠けたところを補修しなければならなかっただろうと、後でポールは思った。

(コーナー担当：赤尾 恭雄)

【ロータリー知識】入門編

＜職業宣言＞1989 年、R I 理事会 採択

事業または専門職務に携わるロータリアンとして、私は以下の要請に応えんとするものである。

- (1) 職業は奉仕の一つの機会なりと心に銘せよ。
- (2) 職業の倫理的規範、国の法律、地域社会の道徳的基準に対し、名実ともに忠実であれ。
- (3) 職業の品位を保ち、自ら選んだ職業において、最高度の倫理的基準を推進すべく全力を尽くせ。
- (4) 雇主、従業員、同僚、同業者、顧客、公衆、その他の専門職務上関係をもつすべての人々に対し、ひとしく公正なるべし。
- (5) 社会に有用なすべての業務に対し、当然それに伴う名誉と敬意を表すべきことを知れ。
- (6) 自己の職業上の手腕を捧げて、青少年に機会を開き、他人からの、格別の要請にも応え、地域社会の生活の質を高めよ。
- (7) 広告に際し、また自己の事業または専門職務に関して、これを世に問うに当っては、正直専一なるべし。
- (8) 事業または専門職務上の関係において、普通には得られない便宜ないし特典を、同僚ロータリアンに求めず、また与えることなかれ。

(コーナー担当：遠藤 二郎)

★「ロータリーの友」拾い読みコーナー★

11月号 《言いたい聞きたい》より

謝意の表明か報酬か 紋別港RC 平野 克昌氏

2003 年 6 月の国際ロータリー理事会は、昨年に続き「理事会は〈謝意の表明〉として、2003～04 年度 R I 会長に米貨 11 万 5 千ドル、会長エレクトに米貨 8 万ドル、会長ノミニーに米貨 2 万 5 千ドルを支払うことを承認いたしました」と決定した。

このことに「何か間違っているのでは」と疑問を持つロータリアンは多いと思う。奉仕哲学に基づくロータリー運動において、ロータリアンの行為は自己研鑽のために行なわれるのであるから、自らの労務の提供に対し、報酬を請求できない。

R I 細則は「役員報酬」として「事務総長は報酬を受けるものとし、理事会がその報酬額を定めるものとす

る」と、全世界のR I役員の中で唯一、事務総長は有給であるとする。これはR I会長を含む他のR I役員は、無給であるとの規定である。

一方、同細則は「感謝の意の表明」として、会長および会長エレクトへの謝礼の支払い権限を理事会に委ねている。

しかし、3年間で22万ドルという金額が「謝意の表明」か、「報酬」の意味をもつのか、社会通念上、いかがであらうか。もし、「報酬」の意味をもてば、これはいわゆる「脱法行為」であり、倫理性を尊ぶロータリー運動には絶対あってはならないことである。

また、この規定が2001年に設けられたことは、ロータリー90余年の歴史が、R I会長に十分な謝意を表してこなかったからなのか、それとも昨今、金銭で謝意を表する必要が生じたのか。

更に、「謝意の表明」ならば、会長退任時に支払われるべきであり、まだ見習い中のエレクトやノミニーは、該当者とは言い難い。

これを機会に、人頭分担金を負担するロータリアンも、その用途の監視を権利より義務であり責任であると考え、ロータリー運動に参加しなければならないと思う。

R I 会長に数千万円の謝礼金

桐生 阿部 高久氏

国際ロータリー会長に、「謝意の表明」として、多額の謝礼金が支払われているという話を聞きました。一体いくら貰っているのか興味がありましたので、昨年、R I日本事務局から過去2年間の理事会議事録を取り寄せてみました。

これが驚きで、R I会長、会長エレクト、会長ノミニーになんと合計約2,650万円(22万ドル)の謝礼金が支払われておりました。会長を終えると3年間に合計約2,650万円を手にするようになります。

昨年度、私は桐生RCの会長を務めましたので、草の根的に“慈愛の種を播きましょう”と提唱された、仏教国タイ出身のラタクル前R I会長に親しみを感じておりましたが、残念ながらラタクル前会長も、会長ノミニー、会長エレクト、そして会長として、既に同額の謝礼金を受け取っておりました。

更に、2003年5月のR I理事会で、2003～04年度の会長、会長エレクト、会長ノミニーに約2,650万円を支払うことが決定しております。この謝礼金の元となる資金は、我々ロータリアンが支払う会費から出ているのです。ハッキリ言いますが、こんな謝礼金のためにR I人頭分担金を支払う気は全くありません。

ロータリアンはすべて平等が原則と信じて、我々は一人

ひとり、皆ボランティア精神で長い間ロータリー活動をしてまいりましたが、一気に熱が冷めてしまいそうです。リチャード・キング元R I会長、ピチャイ・ラタクル前R I会長、ジョナサン・マジアベR I会長殿、謝礼金を即刻返還すべきだと思いますが？ 皆さん、いかがお考えでしょうか？

(コーナー担当：高木 淳光、正房 正孝)

一編集後記一

「謝意の表明か報酬か」「R I会長に数千万円の謝礼金」。〈ロータリーの友〉のこの二題の投稿文を読んでも、なおロータリーの危機を感じない人はいないでしょう。

これは、我々ロータリアンの誠意に対する裏切りです。私も先月末、「2004年規定審議会に期待できるか。このままでは、やがてロータリーにロータリーでなくなる日が来る」との書き出しで、〈ロータリーの友〉に投稿文を送ったばかりです。

今、この編集後記を書きながらも怒りが込み上げてきます。ロータリーの原点に立ち返ってロータリーを守れるのは、クラブの自主性に則り、自らを高めようと地道に努力を重ねる我々ロータリアン一人ひとりでしかありません。(赤尾)

